



## 53 年間病気なしの人生 ④

顧問 戸塚 進也(81才)

いよいよ今回が最終回となりましたが、私の健康に一生を通じて役だったと考えられる事柄を列記させて頂くことにいたしました。

第1に私は25歳の頃から、父の生まれた故郷である静岡県掛川市に住んでおりますが、掛川市の特産品は日本一といわれる深蒸し緑茶の産地であったことです。緑茶にはカテキンという健康に大変役立つ成分が含まれており、日本のみならず世界的に知られております。カテキンは古くから色々な「菌」を防ぐ力があると言われており、医薬学会や食品飲料メーカーでも注目されておりますが、未だ完全な学術的効果が未知数であり、アメリカの有名な公的な研究機関（公衆衛生院の第7院という）が、なぜ健康に良いのかという不思議な飲料として現在も研究が進んでいると聞いておりますが、日本の不思議な病気に役立つものとしては、緑茶とお経（仏様に大声で唱えるお経です）が取り上げられているとのことですから、まだまだ完全な研究成果の発表は相当将来のことと思われまます。実は私は青年時代から今日に至るまで、掛川の緑茶を1日5杯～10杯くらい飲んで人生を過ごしてまいりました。これが病気を退治してくれた一番の要因と私は固く信じております。

次に考えられることは、私は中学生の頃より今日まで、合唱や合唱指揮が得意分野で、中でもベートーベン第九交響曲の合唱（約30分程度歌続ける）に何百回という回数出演し歌い続けてまいりました。特に東京両国の国技館で開催される「万人の第九」公演には、毎回掛川の仲間とともに参加して、これだけでも30数回となりましたが、コロナのためにここ3回休止され、私の大きな心の痛手となっております。

また玉川学園の中学部高等部の頃より、岡田陽先生という学校劇の大家に巡り合え、学校劇を持って東北地方の慰問公演やTBSラジオの連続放送劇に出演したり、50歳を過ぎた頃より明治座俳優学校に学び、第1回の卒業生でしたが、私が政界で働いたのが理由で商業出演がキャンセルされ、芸能界での活動は不可能になりましたが、素晴らし体験をさせていただきました。

戦後直後から、笑いのない日本人にユーモアをと、エノケン、ロッパさんなどの有名な俳優さん

達が、ユーモア村を作られたりして活躍されましたが、「ゆうもあくらぶ」（1954年発足）としてその精神を今日の社会に引き継がれたのが、元通産大臣などを歴任され、田中角栄先生の有力支援者であった江崎真澄先生でした。その江崎先生から「君に僕の財産を分けてあげるよ」と言われて、今日までこの会の副会長を務めさせていただき、春風亭柳昇先生に巡り会い、その後大村崑先生（現理事長）、山東昭子参議院議長（現会長）を推薦申し上げ、今日までユーモアのある国創りのお手伝いをさせていただきました。これも私の大きな心の財産で、病気なしの人生に相当役立ったものと思っております。笑えば福が、怒れば病気が来ると私は思っております。

また家庭にあつては私が22歳、家内が20歳で結婚後、今日まで妻に暴力をふるったことは一度もありません。なぜならもし私が手を挙げれば妻からその何倍かのお返しがあつてヘタをすれば私が満足に生活できるかどうか疑わしいことになるかと恐れており、そのようにならないようにするため謹んで人生を送ってまいりました。女性が腕力も強くなれば決して今日問題になっているような家庭内暴力等は起こって来ないと思うからであります。

最後に私が最も尊敬している現参議院協会会長（前元参議院議員で構成）東京医科大学最高顧問、元日本医師会副会長の宮崎秀樹先生より「戸塚君は病気もせずに今日に至っているのはまさに医者への敵である。あなたのような人はアツという間にあの世に行くことになるので医者へのやることはたった一つ、それは死亡診断書を書くことだが、それは私が書いてやる」と言われました。88歳の宮崎先生に81歳の私の診断書を書いていただくとすれば、私も今後もさらに精進して少しでも世のため人のためになる人生をできる限り長く送らせていただこうと決心しております。

**（終わり）**

=====プロフィール=====

戸塚 進也(とつか・しんや)

1940年1月2日生まれ

・1974年7月参議院議員・1983年7月衆議院議員・2005年掛川市長。1992年より当協会顧問を務めて頂いております。